

開会式・10周年記念式典



6月3日(木) 13:00~14:00

国立情報学研究所長
坂内 正夫

「情報学研究所活動報告」

NIIは設立10年を経、研究・情報基盤事業は、活性化しています。最先端研究開発プロ(量子情報)や次世代SINETを含む、最近の活動と展望を紹介します。

基調講演



6月3日(木) 14:00~15:00

大阪大学大学院基礎工学研究科 教授
ATR知能ロボティクス研究所 フェロー
GCOE認知脳理解に基づく未来工学創成 拠点リーダー

石黒 浩

「アンドロイドを通して学ぶ人間と未来社会」

本講演では、ロボットの人間らしさを探究する一連のアンドロイド研究を紹介しながら、未来社会における人間とアンドロイドの関係について、ロボット工学と哲学の視点から議論します。



6月3日(木) 16:00~17:00

国立情報学研究所 教授
佐藤 一郎

「情報学による低炭素社会の実現」

かつてのコンピュータは低性能かつ高価だったため、情報学ではコンピュータを効率化する技術が発展しました。その技術を現実世界に応用することで、現実世界の効率化・低炭素化を実現する方法を説明します。



6月4日(金) 11:00~12:00

北海道大学大学院文学研究科 教授
山岸 俊男

「ネット社会における評判と信頼」

ネット社会を生きるための社会的知性とは？
評判情報を生みだし、利用し、そして管理するためのしくみについて考えます。

市民講座



6月3日(木) 19:00~20:30

東京大学 教授
影浦 峯

「多言語世界の扉を開く翻訳技術 —人間の翻訳と機械の翻訳は何か違うのか?—」

コンピュータはどこまで人間の言葉を翻訳できるのでしょうか？
先端技術を用いた機械翻訳の具体例を紹介しながら、機械翻訳の背景にある考え方と人間の翻訳との違いや共通性、そして人間がより良く翻訳するためのアイデアをご紹介します。

CSI講演・ワークショップ他

6月4日(金) 13:00~15:30

CSI講演 「大学と社会の未来が変わる —情報基盤のチカラ—」

情報基盤のチカラとは何か。大学と社会の未来は、情報のチカラによってどのように変わっていくのか考えます。

「次世代学術コンテンツ基盤ワークショップ」

6月4日(金) 10:30~12:30
「共に創る、電子ジャーナルアーカイブ
—大学図書館、出版社、そしてCLOCKSS—」

6月4日(金) 15:30~17:00
「いつでもCiNii、どこでもCiNii
—ウェブAPIコンテスト第2弾—」

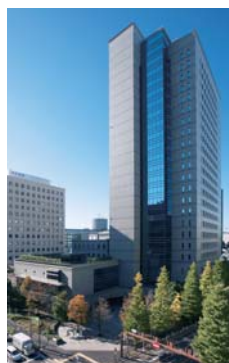
NII 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 TEL: 03-4212-2131 FAX: 03-4212-2150

お申し込み
<http://www.nii.ac.jp/openhouse/>

お問い合わせメールアドレス
openhouse2010@nii.ac.jp

※展示・講演内容、プログラムは変更されることがあります。予めご了承ください。



国立情報学研究所
オープンハウス2010
研究成果発表・一般公開

入場無料

2010年
6/3・4

会場 学術総合センター

■後援: 千代田区 ■協力: 国立公文書館、東京都古書籍商業協同組合

情報学—Next
10 Years

6月3日(木)

●一橋記念講堂

13:00~14:00 開会式・10周年記念式典

●所長挨拶 国立情報学研究所長 坂内 正夫

●来賓挨拶

10周年の活動報告

14:00~15:00 基調講演「アンドロイドを通して学ぶ人間と未来社会」

大阪大学大学院基礎工学研究科 教授
ATR知能ロボティクス研究所 フェロー
GCOE認知脳理解に基づく未来工学創成 拠点リーダー 石黒 浩

16:00~17:00 基調講演「情報学による低炭素社会の実現」

国立情報学研究所 教授 佐藤 一郎

19:00~20:30 市民講座「多言語世界の扉を開く翻訳技術

—人間の翻訳と機械の翻訳は何か違うのか?—
東京大学 教授 影浦 峯

●中会議場

14:00~19:00 デモ・体験コーナー／ポスター展示

18:00~19:00 交流タイム

●特別会議室

17:00~19:00 大学院説明会

●2階中会議場前

14:00~19:00 ポスター展示／プレゼンテーション

6月4日(金)

●一橋記念講堂

11:00~12:00 基調講演「ネット社会における評判と信頼」

北海道大学大学院文学研究科 教授 山岸 俊男

13:00~15:30 CSI講演「大学と社会の未来が変わる —情報基盤のチカラ—」

●中会議場

10:30~17:00 デモ・体験コーナー／ポスター展示

●特別会議室

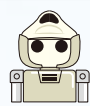
「次世代学術コンテンツ基盤ワークショップ」

10:30~12:30 「共に創る、電子ジャーナルアーカイブ —大学図書館、出版社、そしてCLOCKSS—」

15:30~17:00 「いつでもCiNii、どこでもCiNii —ウェブAPIコンテスト第2弾—」

●2階中会議場前

10:30~17:00 ポスター展示／プレゼンテーション



仮想環境で 人とロボットの 共存社会を シミュレートする

稲邑 哲也

情報学プリンシプル研究系

知能ロボットのための感覚運動と社会的認知のシミュレーションを世界で初めて統合しました。アイコンタクトやジェスチャを伴う身体的・社会的コミュニケーションの評価を仮想環境で行う事ができます。デモでは、ロボットと協力して料理にチャレンジしてみてください。



市販のビデオカメラ による映画の 違法な撮影を 防止するには？

越前 功

コンテンツ科学研究系

スクリーンやモニタに表示した映像をデジタルビデオカメラで違法に撮影する盗撮行為を防止する方式を提案します。提案方式を映画用100インチスクリーンに組み込んだ盗撮防止システムを展示します。



エコフレンドリー 社会のための サイバー・サイエンス

ブレンディングー ヘルムト

コンテンツ科学研究系

オンライン3D世界のような環境でアバターとして登場し、「グリーンITS」(高度道路情報システム)用のプラットフォームを利用しながら運転によるCO₂排出レベルがどのくらいかをテストします。



WebELS: インターネットが 教育、会議、 ビジネスを変える

上野 晴樹

情報学プリンシプル研究系

WebELSで、マルチメディアコンテンツを共有した高等教育、遠隔会議、遠隔講義を、普通のパソコンで、世界のどこでも、誰にでも、簡単に利用出来る、クラウド型eラーニング/コミュニケーション統合プラットフォームをオープンソースで提供します。



大量の映像から 欲しい情報を探す

佐藤 真一

コンテンツ科学研究系

映像解析技術により、映像内容情報をコンピュータが自動抽出し、大規模な映像アーカイブの内容検索を実現するための検討を行っています。映像内容の抽出はセマンティックギャップ克服と呼ばれる極めて挑戦的な課題です。研究成果により実現した映像検索のデモを行います。



ヒカリ&つばさの 情報セキュリティ 3択教室

岡田 仁志

情報社会相関研究系

安全で安心なネット生活を送るためには、情報セキュリティについての正しい知識を持つことが大切です。これらの知識を楽しく学べるように、男女4名の大学生キャラクターが登場する全14話からなるFlash形式のストーリー学習教材を提供します。



ネットワークに つながった計算機や データを活用した 新しい研究方法

合田 憲人(事業系)

リサーチグリッド研究開発センター

e-サイエンスは、様々な学術分野のデータを最先端の情報技術を利用して処理することにより、新たな科学的発見を行うための新しい科学研究の方法であり、グリッド技術はその鍵となる技術の一つです。リサーチグリッド研究開発センターが取り組むグリッド技術に関する研究を紹介いたします。



大学ランキングの 現状と課題

孫 媛

情報社会相関研究系

いろいろな「世界の大学ランキング」が発表され、グローバルで驚異的な影響をもつようになっています。本発表では、現存の大学ランキングの特徴と限界を紹介し、大学ランキングの今後について展望したいと思います。



平面ネットワーク (道路網)を解析して カーナビに役立てよう

河原林 健一

情報学プリンシプル研究系

カーナビの渋滞情報はなぜ迅速にデータ更新可能だろうか？平面構造(あるいは「ほぼ」平面構造)のネットワークに関する最先端の理論を説明します。



すべての人に情報が 伝わるために

坊農 真弓

コンテンツ科学研究系

ケータイの普及は私たちのインタラクションを大きく変えました。本研究ではテクノロジーが私たちのインタラクションをどのように変えるのかを考えます。



未来作りのための IT実験室を提供 します

デモあり

吉岡 信和 (GRACEセンター)

アーキテクチャ科学研究系

NIIでは、研究・教育で使える計算機環境と物理環境を、クラウドとスペースという形で構築しています。本発表では、これらのクラウドやスペースを使うことで、どのように未来の研究実験や教育の演習ができるのかを紹介します。



「どのように」ではなく 「何を」解くかを指示 するソフトウェア開発

細部 博史

アーキテクチャ科学研究系

制約プログラミングでは、どのように解くかではなく、問題の答えが満たすべき条件をそのまま指示することでソフトウェアを開発します。発表では制約プログラミングの技術とその応用について、発表者の研究成果を交えながら概説します。



インターネットは 政治的知識の格差を 縮小するか？

小林 哲郎

情報社会相関研究系

インターネット利用は知識格差を拡大するのか。インターネットを介したニュース接触が政治的関心の低い層でも知識量を押し上げ、知識ギャップの縮小に貢献していることを示します。



数学の対象としての 文法

金沢 誠

情報学プリンシプル研究系

プログラミング言語のような人工言語にはない人間の言語の文法の複雑さを形式的に表現してみると、不思議な数学の問題が次々に現れます。文法の数学における未解決問題についてお話しします。

10周年記念展示

- 情報学Next 10 Years 創立10年分のNIIのできごとをパネル展示
- 2003年から始まったこれまでの56回分の市民講座をダイジェスト紹介!
- 出展数90以上の各ポスター発表内でも“情報学Next 10 Years”10年でできたこと、これからの10年で目指すものを紹介。この10年で研究は何が変わり、どんな成果がでたのか?そして10年後に目指すものとは?!



NIIでは、オープンハウスにむけてTwitterをはじめました。アカウントはjouchoukenです。これからもますますツイートしてゆきます。ぜひ!ご覧ください。

情報学プリンシプル研究系

情報学研究の発展に必要な 基礎となる原理・理論・技術などの 研究内容を紹介します。

宇野毅明: 大規模データの高速処理
隈 啓一: 単細胞生物から動物への進化を探る
井上克巳: 仮説を立てて考えてみよう
山本喜久: 量子を用いて難解な物理や数学の問題を解明する。
龍田 真: ラムダ計算と型理論
佐藤 健: コンピュータが法律推論?
藤山秋佐夫: 生命科学総合情報サイト ほか

アーキテクチャ科学研究系

生活の基盤として欠かせない ソフトウェアやネットワークを支える 研究開発を紹介します。

浅野正一郎: 安全のためのGPS受信
鯉沼道祐: ULP-HPC: 超低消費電力・高性能コンピューティング
中島 震: 正しいソフトウェアの正体を知ることできるのか?
米田友洋: チップの中にネットワークを作る
鄭 顕志: 実世界と調和するシステムのためのインフラ構築を目指して
計 宇生: センサーネットワークで効率的な通信を行う
合田憲人: eサイエンスの実現
本位田真一: 賢いコンピュータを支えるテクノロジー ほか

コンテンツ科学研究系

文章や映像など多様なコンテンツを 分析・収集・活用することで、 私たちに豊かな生活をもたらす研究です。

相澤彰子: 書き手と読み手が会おうとき、読み手の科学
児玉和也: 画像処理技術で視界を妨げるその大黒柱を消せるか?
坊農真弓: すべての人に情報が伝わるために
石川冬樹: サービスを正しく・効率よく組み立てる
北本朝展: デジタル地球の神経系をつくる ほか

情報社会相関研究系

私たちの暮らす社会生活と 情報の結びつきを 理解する研究を紹介します。

板橋秀一: 音声研究の基盤となる音声データ
小山照夫: 日本語テキストから用語を網羅的に取り出す
小林哲郎: 子どもの携帯電話利用と信頼感
古山宣洋: 身振りによどみがある!? マイクロスリップが起こるとき
新井紀子: サイエンス2.0へようこそ ほか